

1. 実況上の着目点

- ① 非常に強い台風第22号が日本の南を北上。日本の東から伊豆諸島付近へ前線がのびている。前線に向かう台風周辺の下層暖湿気の影響で、前線近傍で積乱雲が発達、雷を検知、伊豆諸島では強い雨を解析。
- ② 500hPa 5400m以下で-30℃以下の寒気を伴う寒冷渦に対応して前線を伴う低気圧がオホーツク海を東進。前線に向かう下層暖湿気と上空の寒気の影響で、北日本では、雷を検知し、やや強い雨を解析。
- ③ 発達する熱帯低気圧がフィリピンの東を西北西進。



主要じょう乱解説図

2. 主要じょう乱の予想根拠と防災事項を含む解説上の留意点

- ① 1項①の台風第22号は非常に強い勢力で、8日は進路を東よりに変えて日本の南を北上し、9日は伊豆諸島付近から日本の東へ進む。伊豆諸島付近へのびる前線は、9日朝にかけてほとんど停滞する。台風の接近に伴い伊豆諸島では9日にかけて、非常に強い風や猛烈な風が吹いて、大しけや猛烈なしけとなる所があり、特別警報を発表する可能性もある。暴風やうねりを伴う高波に最大級の警戒。また、台風本体や周辺から前線に向かう下層暖湿気の影響で大気の状態が非常に不安定となり、雷を伴い猛烈な雨が降り大雨となる所がある。土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水や氾濫に厳重に警戒し、落雷や竜巻などの激しい突風に注意。この台風の影響で、東～西日本太平洋側では10日にかけて、南西諸島では9日にかけて、強風やうねりを伴う高波に注意し、東日本太平洋側では9日は、暴風とうねりを伴う高波に警戒。
- ② 1項②の低気圧は閉塞を繰り返し急速に発達しながら、8日はオホーツク海を東進、寒冷前線が北日本を通過。また、9～10日はカムチャツカの東へ進む。前線に向かう下層暖湿気や上空寒気の影響で、北日本では、8日は大気の状態が非常に不安定となる所があり、10日にかけて気圧の傾きが大きくなりやや強い風や強い風が吹いて波が高くなりしける所がある。落雷や竜巻などの激しい突風、降ひょう、強風や高波に注意。
- ③ 1項③の熱帯低気圧は今後24時間以内に台風へ発達し、9～10日は日本の南を北西に進む。熱帯低気圧や台風周辺の下層暖湿気の影響で、南西諸島では9～10日は、大気の状態が不安定となる可能性があり、10日は気圧の傾きが大きくなりやや強い風や強い風が吹き、うねりを伴い波が高くなりしける所がある。落雷や突風、急な強い雨、強風や高波に注意。

3. 数値予報資料解釈上の留意点 総観場はGSMを基本、量予想や降水分布はMSMやLFMも参考。

4. 防災関連事項 [量的予報等] ① 雨量(18時からの24時間) : 伊豆諸島300mm。② 波浪(明日まで) : 伊豆諸島12、関東7、東海・近畿・四国5、その他広い範囲で3～4m。③ 高潮(明日まで) : 大潮の時期。全国的に、注意報基準を超過する所がある。

5. 全般気象情報発表の有無 「台風第22号に関する情報(総合情報)」を17時頃に発表予定。